

抱卵したモクズガニ

■イシガレイは採集できず

今回の調査では、イシガレイの稚魚を採集することができなかった。調査日は昼過ぎまで雨が降っており、七北田川・蒲生干潟は増水している状況であった。河口・同流堤の水門付近・潟湖内で採集を試みたが、イシガレイの稚魚が生息する場所まで到達できなかったと思われる。来月の調査でイシガレイが生息しているか確認したい。

■抱卵したモクズガニの確認

七北田川河口で、抱卵した雌のモクズガニを採集した (Fig.1 2)。足が欠損した個体で、降海して繁殖に参加してから時間がたっている個体かもしれない。多くの卵を抱えており (Fig.3 4)、仙台付近では初夏に繁殖が行われると思われる。



(Fig.1 モクズガニ 背側)



(Fig.2 モクズガニ 腹側)



(Fig.3 腹部の卵)



(Fig.4 腹部の卵 拡大)